

各 位

2025 年 6 月 24 日
株式会社インプレス

これからのマーケターに必要な生成 AI の知識と実践法を網羅！『AI 駆動マーケティング』を 6 月 24 日（火）に発売
発売を記念して約 80 ページを 1 週間無料公開

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、マーケティング業務に携わる人々に向けて、生成AIの知識や技術、市場調査やクリエイティブ制作などへの活用法を解説した書籍『AI 駆動マーケティング 業務効率化を超える生成 AI 実践術』を2025年6月24日（火）に発売いたします。



■業界を激変させる生成AIを仕組みから理解。長く役立つ力が身につく

生成AIの急速な進化は、マーケティング業界に大きな変革をもたらしています。生成AIがビジネスを成長させ、競争で優位に立つための重要な手段として期待が高まる一方、これまでの生成AIの流行に乗り切れず、知識が追いついていないという不安を抱える方も少なくないでしょう。

本書はこのような状況を踏まえ、生成AIの基礎から企業での事例、マーケティングへの活用方法、課題とリスク管理、そして未来への展望までを取り上げています。特に、生成AIの技術的な背景を、難しい数式や専門用語を極力使用せず、誰でも理解できるように解説しているのが特徴です。本書を読み進めることで生成AIの「強み」と「弱み」を理解できれば、自身の業務への活用の仕方も見えてきます。

生成AIを取り巻く環境は目まぐるしく変化しているため、本書で取り扱っている一部のサービスやモデルの情報は、時が経つにつれ古くなってしまうかもしれません。しかし、本書ではそれらの紹介に留まらず、生成AIの本質的な理論を学び、生成AIがどのように進化しても対応できる力が身につけられることを重視しました。生成AIに興味がある方はもちろん、これまで学ぶ機会を逃してきた方も、本書でマーケティング×生成AI実践の最前線に一気に追いつくことができます。

■広告業界の先駆者へのインタビューも掲載

マーケティング・広告業界の先駆者である、杉山恒太郎氏、レイ・イナモト氏、音部大輔氏、藤原義昭

氏への特別インタビューを収録。生成AIの未来予測や、ビジネス活用の勘所など、トップランナーたちのリアルな視点と洞察に触れることができます。

杉山恒太郎氏（株式会社ライトパブリシティ 代表取締役社長）

レイ・イナモト氏（I&CO 創業パートナー）

音部大輔氏（株式会社クー・マーケティング・カンパニー 代表取締役）

藤原義昭氏（株式会社300Bridge 代表取締役）

※本書掲載順

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ 広告代理店に勤務し、生成AIを業務で活用したいマーケターやコンサルタント
- ・ 事業会社の宣伝・広報、マーケティング担当者や責任者（CMO）
- ・ DXに興味がある経営層
- ・ 広告・マーケティング業界、および関連職種を志す学生や転職希望者など

■紙面イメージ



生成AIについて、図版も交えながら解説しています。特に、技術的な背景は、非エンジニアでも仕組みが理解できるよう、分かりやすく解説しています。



Deep Researchで デスクリサーチを完結させる

マーケティングのデスクリサーチにおいて、Deep Researchの利用はすでに浸透しつつあります。本節では、マーケティングで出力の精度を高めるのに役立つDeep Researchのプロンプト事例を紹介します。

AIエージェントやDeep Research機能を持つさまざまなサービスの中から、今回はGoogle Gemini 2.5 ProのDeep Researchを使用します。GeminiのDeep Researchは、比較的広範な情報ソースにアクセスしに行くのが特徴です。プロンプトで直接指示していない関連トピックについても価値ある示唆を提供してくれます。市場調査では、予想外の発見や気付きが重要な洞察につながるが多いため、この特性は非常に有益です。

リサーチのためのプロンプト設計

Deep Researchの効果的な活用には、適切なプロンプトの設計が重要です。何を調査してほしいのか、どのような形式で結果を出力してほしいのかを明確に指示します。以下は、北米市場での炭酸飲料に関するマーケットリサーチのためのプロンプト例です。

プロンプト入力例

私は北米市場でのマーケティングのプランを立案したいです。
私の会社が次にマーケティングを担うターゲットは北米市場での飲料水マーケットです。
具体的には炭酸飲料で、10代～20代前半をターゲットに「今までにない爽快感」がウリになる想定です。

280

私は北米市場での炭酸飲料を中心としたマーケット状態を把握したく、あなたはマーケティングリサーチャーとして、2022年～2024年における飲料水マーケットの市場規模や商況、環境要因などをリサーチしてレポートしてください。

なお、環境要因についてはPEST分析のフレームワークでマーケットを分析してください。

以下は、調査にあたっての細部の指示です。

- 北米市場での市場調査に限定してください。
- 測定期間は2022年から2024年までをお願いします。
- 表形式でまとめやすい数値データなどは表での出力をお願いします。
- 炭酸飲料をターゲットに分析したいですが、データが見つからない場合は炭酸飲料以外の飲料水を含んだ分析でもかまいません。ただしアルコール飲料は除外してください。
- この分析の後に、自社商品の訴求の検討やSWOT分析などを行いますので、まずは自社商品を意識せず、広くマーケットの概況をレポートしてください。

このプロンプトの設計において重要な点は以下の通りです。

- リサーチの目的と背景を明確に示す
北米市場における炭酸飲料のマーケティングプラン立案のためであることを、冒頭で明示しています。
- ターゲットの具体化
10代～20代前半をターゲットとし、「今までにない爽快感」がウリであることを指定しています。これにより、AIはそのターゲット層に関連する情報や、商品の特性に関連するトレンドに焦点を当てられます。
- 分析の枠組みを指定
環境要因をPEST分析のフレームワークで整理するよう指示しています。これにより、単なる情報の羅列ではなく、構造化された分析が期待できます。
- 調査範囲と制約条件の設定
対象を北米市場に限定し、測定期間を2022年から2024年までと明確に定めています。また、アルコール飲料は除外するといった制約も加えることで、無関係な情報が混入するリスクを減らしています。

281

マーケティングでの実践方法を、プロンプトの入力例やそのポイント、生成AIの回答例、実際の画面とともに紹介しています。

■本書の約80ページを1週間限定で無料公開

書籍の発売を記念して、本書の冒頭～第2章まで、約80ページを1週間限定で無料公開いたします。書籍内容の提供には、自社開発の「インプレスWebブックビューアー」を使用します。Webブラウザで紙面を閲覧できるので、場所や時間を選ばずにPCやスマートフォンなどから登録不要で利用できます。また、SNSで書籍の情報を共有したり、書籍の購入や詳細を確認したりできる機能も備えています。

無料公開URL：<https://book.impress.co.jp/books/1124101139>

公開期間：2025年6月24日（火）から6月30日（月）まで

■本書の構成

- 第1章 生成AIの登場と概要
- 第2章 マーケティングへの影響の全体像
- 第3章 代表的なサービスと企業での活用事例
- 第4章 マーケターのためのプロンプトの技術
- 第5章 倫理的・感情的課題とリスク管理
- 第6章 カスタムAIの発展と人間の役割の再定義
- 第7章 マーケティング×生成AI実践サンプル

■書誌情報



書名：AI駆動マーケティング 業務効率化を超える生成AI実践術
著者：馬渕邦美 柴山 大
発売日：2025年6月24日（火）
ページ数：320ページ
サイズ：A5正寸
定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）
電子版価格：2,200円（本体2,000円＋税10%）※インプレス直販価格
ISBN：978-4-295-02166-7

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295021660>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1124101139>

◇書影（高解像度）ダウンロード：

<https://dekiru.net/press/502166.jpg>

■著者プロフィール

馬渕邦美（まぶち くによし）

Xinobi AI株式会社 共同CEO

一般社団法人Metaverse Japan 代表理事

一般社団法人Generative AI Japan 理事

一般社団法人日本ディープラーニング協会 有識者会員

日本の産業界と世界を結ぶテクノロジー・グローバルビジネスリーダー。大学卒業後、米国のエージェンシー勤務を経て、デジタルエージェンシーのスタートアップを起業。事業を拡大しバイアウトした後、米国のメガ・エージェンシー・グループ Ogilvy One CEOに転身。4社のCEOを歴任し、デジタルマーケティング業界で20年に及ぶトップマネジメントを経験。2018年にはFacebook Japan（Meta）のディレクターに就任し、Instagramの日本市場での成長を牽引。その後、PwC コンサルティング パートナー、デロイトトーマツコンサルティングパートナー：APAC TMT AI Leadを経て現職。『AI時代のベンチャーガバナンス』『ジェネレーティブAIの衝撃』（日経BP）など著書多数。

柴山 大（しばやま だい）

株式会社Hakuhodo DY ONE 常務執行役員

negocia株式会社 代表取締役

通信企業やWebメディア企業にてインターネットサービスの商品企画開発・マーケティング・UI/UXの責任者を務めた後、2017年にnegocia株式会社を創業し、代表取締役に就任。2019年、negociaと株式会社アイレップの資本業務提携に伴い、アイレップにてテクノロジー領域全般を統括。2022年より、アイレップ取締役CTOおよび株式会社博報堂テクノロジーズ執行役員を兼任し、博報堂DYグループにおけるAI開発を主導。2025年より、株式会社Hakuhodo DY ONE常務執行役員として、デジタル広告の領域を総合的にリードしている。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。